



コープリハビリテーション病院・老健あかねだより

No.39 2016年11月号

倉敷医療生活協同組合

コープリハビリテーション病院

〒712-8024 倉敷市水島北春日町4番3号

TEL 086-444-3212

老人保健施設 老健あかね

TEL 086-446-6541



水島港まつり（商店街の様子）

私と倉敷医療生協さんとの
お付き合いはケアハウスちど
りの1階フロアをお借りして、
子育て支援のぴーぽっぼサロ
ンを開設したのが始まりです。
10年以上になります。代表者

れた7階建ての立派なコープ
リハビリテーション病院・老
健あかねが、水島の千鳥町に
できました。来年の2月がオー
プンとお聞きます。本当に
おめでとうございます。水島
の商店街にとりましては今後の
期待も込めてとても喜ばし
い事で御座います。



尾崎浩子会長

赤と青
の輪のロ
ゴマーク
が付けら

コープリハビリテーション病院・老健あかねに期待すること

水島おかみさん会 会長 尾崎 浩子

は変わりましたが、今も続い
ております。その後は商店街
の春・秋の祭り、水島雛めぐ
り、夏祭りの水島夢Koi・
Koiなど。また倉敷医療
生協の健康祭りにも毎年参加
させていただいております。
このように地域のイベントや
お祭りにいつも協賛してい
だいておりますが、この商店
街エリアに來られ、さらに益々
のご協力をお願い申しあげま
す。

話しは変わりますが、私の
実母が昨年88歳で逝きまし
た。高齢で少し認知も来てお
りました。元気でいた。転ん
で骨折して脚を手術し、その
後シヨックなのか、何も欲し
くないと食べなくな
り、言葉も出さな
くなりました。脚の方
はよくなった。脚の方
は弱ってしまいま
した。内科医を紹介
されて、転院しまし
たが終末期の患者さ
んが多い病院でし
た。高齢者でも私た
ちは、何か前向きに
取り組むことはな
かったのかと思いま
した。今となつては、
母は、よう長生きし
たわ！と元気な時
に満足げに話してく
れていましたので少
し救われています。

この度、コープリハ
ビリテーション病院・
老健あかねだよりを見
せていただくにつけ、
リハビリを行って患者
さんをお家に帰すだけ
でなく、社会に帰すと
いう使命感を持って！
と書いてありました。



とって大切な事も身に
しみて感じました。歯
科とのリハビリも一緒
にできると知り、これ
からの高齢社会に地域
の宝物になりますよ
う、病院の先生方、ス
タッフの皆様、どうぞ
宜しくお願い申し上げ
ます。

このような病院
ができるのか
と、嬉しく思
います。歯科のモ
グモグ・ごつく
んが高齢者に

ドローンで空撮



亀島山地下工場を語り継ぐ会について

〈本誌「シリーズ戦後70年」を受けて〉

当法人の志賀理事の勧めで「亀島山地下工
場を語り継ぐ会」に参加しました。

私は「戦争を知らない君たちへ」悲惨な過
去を後世に語り継ぐ」と題して発表を行いま
したが、これは私が小学生の時に学芸会で演じ
た劇のタイトルです。本誌で戦争体験を語って
いただいたHさんの「戦争を風化させてはなら
ない」「戦争体験を次世代へと語り継いで行っ
てほしい」という願いを込めてこのタイトル
にしました。

報告会では、満州での敗戦、ソ連軍による
奇襲攻撃の様子を伝えました。会場には高
齢の方が多く、中には戦争を体験された方も
いらつしやる様でした。発表後、「君たち若手
職員が積極的に戦争体験の聞き取りに取り組
んでいるのは素晴らしいね」と、お褒めの
言葉を頂きました。

思い出したくなかったであろう満州での悲惨
な経験。「君たちの勉強になるのなら」と快
く応じてくださったHさんには本当に感謝して
います。Hさんの思いを胸に、これからも平和
活動に積極的に取り組んでいきたいと思ひます。
コープリハビリテーション病院

3病棟 介護福祉士 西村 和彦



Hさんの話を聴き取る筆者（左）

コープリハビリテーション病院は、川崎医科大学附属病院と倉敷中央病院との連携病院です。

入院や入所に際して、部屋代はいただいていません。

シリーズ「専門職の誇り」

介護が身につけるべき接遇

この病院で働き始めて16年目になりました。長く働かせていただいている中で私が心がけている事は患者さん、利用者さんに笑顔で対応し話しを聞くということです。

先日、介護の学習会で接遇について勉強をしました。資料作りの為たくさん本やインターネットで調べていく中で、「介護職にとって知識や技術はとても大切です。しかしより良いサービスを提供するために接遇マナー、コミュニケーションスキルも求められています。実際介護職員に身につけて欲しい能力の8割を占めていると言われています。」と書かれていました。接遇についての学習には何

度か参加し大切さは分かっていたが8割も占めているという事に接遇の重要さを再認識しました。多くの病院や施設でも接遇やマナーについてしっかりとスタッフへの教育を行っていると思います。

つい馴れ合いの話し言葉や対応になりがちですがスタッフ1人1人が接遇についてしっかりと意識し患者さん、利用者さん、家族の方々に対応していく事ができる。そして皆さんに気持ちよく利用していただけるような病院づくりをしていきたいと思っています。

コープリハビリテーション病院
1病棟 介護福祉士
副主任 松尾 裕子



患者さんに笑顔で対応（筆者左）

無料低額診療事業を

コープリハビリテーション病院・老健あかねで始めます

「入院してリハビリを受けたいが入院費の支払いが大変なので早めに退院したい。」「家での介護は大変だけど、入所費用が高いため家で頑張ろうと思っています。」など、毎日、支払いに関する相談が寄せられています。また、

介護保険料は月5,850円が年金から天引きされており、計を圧迫しています。そうした状況のなか、倉敷市で初めて、コープリハビリテーション病院と老健あかねが無料低額診療事業を始めることになりました。

利用できる方は、当院で医療・介護の療養を受けられる方で、経済的な理由で診療費や介護費用の支払いが困難な方です（一定の条件が設けられています）。対象となる診療内容は、一部負担金・食事療養費・おしめ費用（入院の場合）等です。

お問い合わせは医療相談・連携室までお気軽にお越しください。

医療相談・連携室室長
医療ソーシャルワーカー
田辺 紀子

ボランティア紹介

寄り添いボランティア
尾田 孝子



お話をされているところ（筆者右）

3月から老健あかねで、「寄り添いボランティア」と称して月に1回、ボランティアをさせていただきます。

私がボランティアを始めたのは6年前からで、デイサービスを中心に1回一時間半くらい、相手の方の様子を見な

からお話をさせていただいています。

特定の入所者さんを対象ではなく、ひとりで車イスに座っておられる方、目と目があつた方、人恋しい瞳をしておられる方など、どなたのところにでも足を伸ばしてお話をさせていただいています。

ボランティアに伺い、入所者さんが笑顔で返してくれた時は、最高の幸せを感じます。

入所者さんに想いを馳せ、少しでも役に立つことができればとの思いで始めたボランティアですが、現在では私の生き甲斐となつています。

「また来るからね。」と笑顔で言うと、同じように返してくださる笑顔に励まされながら、これからも続けていきたいと思っております。



ソーシャルワーカーが相談を受けているところ

特集 看護 ⑬
ユマニチュードについて③
認知症看護認定看護師
田上 理枝
（コープリハビリテーション病院1病棟）

新入職員紹介

老健あかね
介護士
松本 美和

老健あかね
看護師
柴田 真樹

〇お問い合わせ先
倉敷医療生活協同組合
コープリハビリテーション病院
老人保健施設 老健あかね

TEL 086-444-3212（代表）
受付時間 8:30～17:00
（土日祝・年末年始を除く）

〒712-8024
倉敷市水島北春日町4番3号

ホームページ
http://coopreha.jp/

メールアドレス
info@coopreha.jp

広報委員会
発行責任者 笹舘 勝人

老健あかねは、通所リハビリ・訪問リハビリ・短時間通所リハビリとの連携をしています。